



高尾保育園の園児たちを対象とした自然体験会(1月10日)



活動PRのため、八王子市のいちょう祭りに出展(平成24年11月)



伐採風景

お日の森くらぶは、東京都八王子市西浅川山林組合所有の西浅川山林(通称「お日の森」)を中心に隣接する駒木野国^{こまぎの}有林や私有林などで活動する森林ボランティア団体。
放置されていた山林を手入れし、かつての美しい雑木林の姿と豊かな生態系を回復して、子どもたちが楽しく遊べる森へと生まれ変わらせるために活動を続けています。

60年間放置された雑木林

東京都八王子市西浅川地区の山林は江戸時代から里山として地元住民から利用されてきました。江戸時代には育馬の飼料や田畑の肥料、茅葺^{かぶき}屋根の茅の供給場所として、明治以降は主として治山・治水

のための山として、また、薪^{かき}炭材^{たんざい}供給の里山として利用されてきました。しかし、炭や薪の需要が低下したため、およそ60年間、誰の手も入らないまま放置されてしまいました。

朝一番に日が当たるため「お日の森」と呼ばれた落葉広葉樹の森は、萌芽成長した木が大

木になり、下層にはアオキ、ヒサカキ、ヤブツバキなどの常緑広葉樹が生い茂り、すっかり暗い森になっていました。

かつての美しい森の姿を回復し、森林教育の場に

お日の森のかつての姿を取り戻すための取組がはじまったのは、平成18年のこと。6月に行われた調査では、かつて沢蟹がたぐさんいたという沢は涸れ、山の中はうつそうとして、どこを歩いてもいいのかわからないような状態だったといえます。

平成18年11月からは、自然と森林を守る「多摩の森・大自然熟事業」の一環として森の整備がはじまり、この活動に賛同し協力しあってきたメンバーによって平成19年10月に「お日の森くらぶ」が発足。①かつての美しい雑木林の復元を図り、



ヤマザクラの植樹



法面の草刈り



植生調査



シイタケの収穫

共有の資産として将来に残す、
 ②都市住民の子ども達や近隣住民の自然体験の学習や遊びの場に活用することを目的に計画作りと整備を行なう、③山林の整備・施業上、発生する伐木・残材などは、有効に利活用し、外部に出さずに林内で循環させて、生物多様性のある森づくりを目指す、④山林組合、地域住民、市民のボランティアグループの協働のもと、次世代に受け継ぐために、あらゆる参加者との関係を大切にすることを基本理念として活動を開始しました。
 また平成23年4月からは、林野庁の「遊々の森」制度を利用し、隣接する駒木野国有

林1.74haの整備も開始。お日の森と一体化した子どもたちの森林環境教育の場として使用し、高尾保育園や地元小学校を対象とした総合的学習の授業や自然観察会などを行っており「子どもたちが楽しく遊べる森構想」が大きな広がりをもちました。

協働の森づくりを進めるために

お日の森はJR高尾駅から徒歩約15分という好立地。交通の便も良く、会員は都内各地から集まって活動しています。活動内容は月3回の定例会での森林整備作業を中心に、

シイタケ栽培や自然体験イベントの実施など。整備にあたっては植生調査を行い、環境への十分な配慮を心がけています。
 今年度は伐採や植樹、傷んだ道の補修のほか、炭焼き小屋跡地を広場に整備するなど活動を行うとともに、地域住民の参加者を増やすため、八王子市の「いちよう祭り」に参加し、活動をPRしました。
 こうした活動の報告や参加者によるコラムはホームページで公開されています。また、活動参加もホームページから申し込み、会員以外でも気軽に参加することができます。

お日の森くらぶ

- 会員数 50人
- 活動フィールド 東京都八王子市西浅川町 西浅川山林(お日の森) 1.28ha
 東京都八王子市裏高尾町 駒木野国有林 1.7ha
 このほか私有林を含む合計約4ha
- 定例活動 毎月第2火曜日、第2土曜日(駒木野)、第4日曜日
- ホームページ <http://www.ohinomori.jp/>